

§6 ロープ結び

●セッションの目標（参加者はこのセッション終了時に次のことが達成できる。）

1. キャンプに必要とされる次のロープ結びが確実にできる。(5-②、6-1-①)

- ・本結び ・一重つぎ ・ふた結び ・ねじ結び ・もやい結び
- ・8の字結び ・てぐす結び ・巻結び ・引きとけ結び ・角しばり

(以上は★事前課題)

- ・ちぢめ結び ・腰掛け結び ・張り綱結び ・からみ止め ・床しばり
- ・筋かいしばり ・はさみしばり（2脚、3脚）

(以上は Step1 で実習)

●指導上のねらい・ポイント

1. まずは、ロープ結びができる（→適切な結びを活用できる）ことで、キャンプの様々なシーンが豊か（便利）になるコトを体感する。
2. そのため、まず、一通りお復習いする。そして、できる限りこの期間内にそれを使ってみることで、手技として定着させる。

※スカウトキャンプで使用する「ロープ結び」はだいたい決まってくる。特にキャンプのシーンでは実際にロープや結びを多用するので、覚えやすい。

3. どこにどんな結びを使うのか、どの結びを使うのが適切なのかを検証しよう。

●セッション展開にあたっての留意点

1. ここでは、「自分でできる」ことはあたりまえで、それを
 - ・キャンプの生活（野営工作等）で活用できる
 - ・スカウトに「指導できる」

だけのレベルを求めたい。

そのために、確実な結び方とそれによる効果を意識的に確認させるよう、セッションを展開してください。

●準備品 ・名称〈規格〉（数量）

- ・角しばり、筋交いしばりを練習するための竹材。
- ・はさみしばり（三脚）用の竹材。

●他のスタッフへの依頼事項

【他の講師に】

- ・グループについて支援をお願いします。

【業務・奉仕スタッフに】

- ・必要な竹材（太さ、長さ、数量）を確実に揃えてください。

●セッション構成と展開（時間配分）

- 講義（10 分）→実習（15 分）→まとめ（5 分）

《導入》(5 分)

1. 「 」

《展開》(20 分)

1. キャンプに必要とされる次のロープ結びが確実にできる。

①参加者は「事前課題」として 10 種のロープ結びを覚えてきているので、それはできるものとみなす。すなわち野営工作物を作成するにあたって、実際に使用できることを前提とする。

②ロープ結びは、大きく 3 つに分けることができる。

- ・ロープとロープをつなぐ結び方 ・ ・ ・ ・ ・ 結ぶ： 本結び、一重つぎ、8の字結び

- ・ロープで物を縛る(くくりつける)・・・縛る：巻結び、角縛り
- ・ロープそのものを何かに留める結び方・・・留める：ねじ結び、ふた結び、もやい結び、張り綱結び

③正しい「結び」について

- ・簡単に結べて、確実に結べて、簡単にほどくことができる
- ・いくつか実際に見せる。

④ではお復習をしてみましょう

- ・事前課題のロープ結びを、ざっとやってみる。
 - 一緒にやらせるが、参加者が確実にできるのを待つことはしない。
 - ・本結び ・一重つぎ ・ふた結び△ ・ねじ結び△ ・もやい結び
 - ・8の字結び ・てぐす結び ・巻結び ・引きとけ結び ・角しばり▲
 - (△：は腕や足を利用する、▲：は予め作っておいた見本を見せる)
 - ※結びのポイント(結び方、力点、作用点、絞点など)

⑤次に、下記のロープ結びについて、キャンプにおける代表的使用方法を説明して結んでみせる。

- ・参加者には、冊子「ロープ結び」を参考に、この後のセッションで実践するよう伝える。
- もちろん、講師の結び方を見本にして一緒に結んでもよい。

- ・ちぢめ結び・・・長いロープを短くする場合
- ・腰掛け結び・・・ロープの途中に縮まない「輪」を作るとき
- ・張り綱結び・・・ロープの長さを調節するとき
- ・からみ止め(策端止め)・・・ロープの端がほどけないように
- ・床しばり・・・野営工作で台の床や天板をつくる時
- ・筋かいしばり・・・交差する材料を縛って固定するとき
- ・はさみしばり(2脚、3脚)・・・二脚や三脚をつくる時

※マメ知識

- ・スカウトロープは、結びの練習のために使うもの。
- ちなみに、静切断過重・・・70kg しかないので練習以外には使わない。
- ・「角しばり」だが、「ボーイスカウトハンドブック」P.240にある、巻きの位置「外・内」は間違いで、「外・外」が正しい。直交する2本の材を強固に固定するには、できるだけ左右・上下の巻きの幅(材の押さえ幅)を広く取ることが大切。割を巻くのにスムーズだとか、紐が切れない・・・といった説が出回っているが、それでは、本来の固定するという構造と力学に反する。それは別の視点からのものだ。

《まとめ》(5分)

1. 時間が足りないので、全部の結びはできないでしょうから、「自己課題」として自己研鑽をしてください。
2. 「便利+快適」なキャンプではなく、「多少不便+快適」なキャンプでいいと、§3で言いましたが、不便を便利にする最大のテクニックが、このロープ結びなのです。
3. いい加減な縛り方だと、求める強度がでなかったり、ほどけなかったりで、結果として安全を確保できないことがあるので、きちんと確実な縛り方を身につけること。

●備考